

亀岡清泉荘 第19回 運営推進会議

《曾我部町の皆様との合同開催》

平成28年10月15日

於：曾我部町自治会館

次第

- 開会挨拶

- 本日の出席者の紹介

- 亀岡市地域包括支援センターあゆみ センター長 挨拶

- 亀岡清泉荘の概要

- 曾我部町から受けた恩恵

- 亀岡清泉荘の歩み

- 亀岡清泉荘の取組みにご支援頂いた方々

- 亀岡清泉荘の利用者さまについて

- 亀岡清泉荘の利用事例

- 亀岡清泉荘 運営推進会議で出された意見、提言等

- 意見交

はじめに

本日はご多忙な中、当運営推進会議にご出席いただき誠にありがとうございます。

また、曾我部町地域の皆様には、亀岡清泉荘の事業活動につきまして、多方面にわたりご理解とご支援を賜りましたことについて御礼申し上げます。

遡りますと開設前の平成24年、候補地の探索の際には地元自治会関係者の皆様にもご協力いただきましたおかげで、地域密着型サービス事業として恰好の立地で開設することができました。

さらに建設から開設に至るまでの説明会等におけるご協力のもと、平成25年9月4日に竣工式典・開所式を行うことができました。また、開設後の運営においても、文化祭への出店や各種行事へのご招待、近隣の駐車場のご紹介、地元食材や資材の提供及びイベントへのご協力など多くのご支援を賜りましたことに重ねて御礼申し上げます。

お陰様をもちまして、開設以来3年を迎える今日、亀岡清泉荘の事業基盤も確立することができ、小規模多機能ホーム、グループホームとも、利用者さまの安心・安全を第一とし、常に定員を満たしながらの運営ができるようになりました。

人口の高齢化が伸展し、高齢者福祉、介護保険事業を取り巻く環境が変化する中で、今後もより地域の皆様にお役に立てる事業所運営を心がける次第でございます。皆様方の暖かいご支援を励みとして努力して参る所存でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

ケアコミュニティ株式会社

代表取締役 松野修典

1. 亀岡清泉荘の概要

(1) 小規模多機能ホーム

①事業内容

小規模多機能型居宅介護では、居宅要介護・要支援者の方々に、その心身の状況、置かれている環境などに応じて、本人の選択に基づき、本人の居宅、または機能訓練や日常生活上の世話を適切に行うことができるサービスの拠点として小規模多機能ホームに通って頂き、もしくは短期宿泊して頂き、入浴、排泄、食事等の介護、調理、洗濯、掃除等の家事、生活等に関する相談・助言、健康状態の確認その他日常生活上の世話及び機能訓練を行います。

つまり、従来は縦割りであった訪問介護、通所介護、短期入所生活介護をその壁を取り払った小規模な「なじみの空間」と「なじみの人間関係」の中で安定的に提供するもので、特に、認知症高齢者への効果が期待されているサービスです。

②特徴

- ◇ 「通い」「訪問」「泊まり」どのサービスを利用しても、いつも顔なじみの職員がケアを行います。
- ◇ 少人数登録制のため、家庭的な雰囲気の中で他の利用者・職員と楽しく過ごすことができます。
- ◇ 月額定額制のため、介護保険利用限度額を超え、自己負担額が増えてしまう心配がありません。（他事業所サービス併用の場合を除く）
- ◇ 24時間年中無休なので、いざという時にも対応可能。安心して在宅生活が送れます。
- ◇ 認知症実践者研修の受講を修了した職員が配置されているので、認知症の方の受入れも安心です。
- ◇ 介護度が中重度になっても、住み慣れた自宅での生活を可能にします。

③登録利用者さまについて

【登録利用者さま：27名】（女性18名・男性10名）

要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	要支援2	要支援1
0名	0名	1名	5名	17名	4名	0名

※要介護1の方1名退院後再利用予定、要介護3の方1名退院後利用開始予定

【お住い】

曾我部町：13名、稗田野町：4名、余部町：1名、千代川町：1名、吉川町：2名、東つつじヶ丘2名、南つつじヶ丘1名、三宅町1名、西別院町2名

④職員体制について

管理者 (兼務)	計画策定担当者 (兼務)	看護師	介護職員
0.5	1	1.	8.7

(2) グループホーム

①事業内容

認知症対応型共同生活介護では、認知症要介護・要支援者の方々に、共同生活を営むことができる住居において、入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練等のサービスを提供します。

認知症対応型共同生活介護は認知症グループホームといわれているもので、従来は居宅サービスに分類されていましたが、法改正を機に地域密着型サービスとして位置づけられました。改正前には要支援者は利用できませんでしたが、改正後は地域密着型介護予防サービスもあり、要支援（2に限る）の方も利用できるようになりました。

認知症は集団の中で画一的にケアを受けていると、生活そのものがケアに支配され自己が失われていくような不安を感じます。認知症グループホームのケアは、認知症の方が混乱しないで普通の生活を送ることができるようにすることを何よりも優先します。認知症の方が「心身の痛みを緩和し」、「心を癒し」、「生活に満足できる」ように導きます。

②特徴

◇ 慣れ親しんだ生活様式が守られる暮らしとケア

束縛のない家庭的な暮らしを提供します。

◇ 認知障害や行動障害を補い、自然な形で力を発揮できる暮らしとケア

◇ 少人数の中で1人1人が個人として理解され、受け入れられる暮らしとケア

人としての権利と尊厳、個人の生活史と固有の感情を大切にします。

◇ 自信と感情が生まれる暮らしとケア

衣・食・住全般において生活者として、成人した社会人としての行動、役割を回復します。

◇ 豊かな人間関係を保ち支え合う暮らしとケア

家族との関係、擬似家族としてのスタッフとの、地域社会との、入居者同士の支えあいによる穏やかな関係を大切にします。

③入居利用者さまについて

【入居利用者さま：9名】（女性8名・男性1名）

要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	要支援2	要支援1
0名	2名	2名	0名	5名	0名	0名

【入居前のお住い】

稗田野町：2名、余部町：1名、大井町：2名、矢田町1名、東つつじヶ丘：1名

上矢田町：1名、南つつじヶ丘：1名

④職員体制について

管理者 (兼務)	計画策定 担当者	看護師	介護職員
0.5	0.5	1	8.1

2. 亀岡清泉荘 開設より現在までの歩み

【平成 25 年】

- 8 月 20 日：小規模多機能ホーム亀岡清泉荘、グループホーム亀岡清泉荘にて介護保険法に基づく指定事業所として指定を受ける
- 9 月 4 日：午後 1 時 30～15 時 30 分にて竣工式典・開所式を開催、栗山亀岡市長、西田保険所長はじめご来賓 4 名及び 80 名の地域からのご臨席を頂いた。
- 9 月 5 日～7 日：小規模多機能ホームを主とした内覧会を開催、地元老人会、事業者をはじめ地域の方々が述べ 120 名来所された。
- 9 月 8 日：利用者さまのご利用開始
- 9 月 22 日：敬老会（大正琴の演奏、他）
- 10 月 10 日：グループホーム運動会に参加
- 10 月 15 日：「生活保護指定介護機関指定申請書」を提出
- 10 月 31 日：中部消防組合 防災セミナーに参加
- 11 月 13 日：『清泉荘だより』第 1 号発刊（南部エリア 3000 世帯に配布）
- 11 月 15 日：かめおか医療連携研究会に参加
- 11 月 17 日：曾我部市民文化祭に参加
- 11 月 23 日：南丹在宅医療研究会に参加
- 11 月 26 日：穴太寺参拝（紅葉狩り）
- 12 月 14 日：「女性のための健康麻雀教室」開講 受講者 4 名
- 12 月 25 日：小規模 クリスマス会
- 12 月 24 日：「苦情解決委員会」を開催、宮内委員長、外部委員 2 名を設置
- 12 月 27 日：GH クリスマス会
- 12 月 28 日：小規模 ボーリング大会

【平成 26 年】

- 1 月 3 日：初詣 與能神社
- 1 月 9 日：「ミニシアターまる」の人形劇鑑賞
- 1 月 12 日：新年祈願祭
- 1 月 28 日：亀岡市介護相談員見学
- 1 月 30 日：亀岡清泉荘「消防計画」を届出
- 2 月 3 日：節分レクリエーション
- 2 月 14 日：曾我部町地域ケア推進会議参加
- 2 月 22 日：かめおか医療連携研究会
- 3 月 3 日：ひなまつりレクリエーション
- 3 月 10 日：小規模連絡会議（すずらん） 管理者 1 名参加
- 3 月 11 日：『清泉荘だより』第 2 号発行（南部エリア 3000 世帯に配布）
- 4 月 15 日：小規模・GH 合同 BBQ 大会でご家族もご参加
- 5 月 1 日：亀岡病院訪問看護ステーションとぐるぷほーむ訪問看護の委託契約を開始
- 5 月 5 日：あゆみの家 映画鑑賞会 参加

5月7日：第2組健康麻雀教室開講
5月13日：GH 外食（しん愛）
5月18日：小規模外食（かっぱ寿司）
6月28日：そば打ち実演、試食会
7月18日：ききょうの里見学
7月17日：介護予防・日常生活支援総合事業プロジェクトチーム会議参加
7月18日：亀岡市医療連携研究会参加
7月28日：地域密着サービス事業者の集団指導
7月31日：昼食会（パステル）
8月23日：六地藏（南条お参り）、穴太寺地藏盆参加
8月30日：夏祭り開催
9月14日：犬甘野 そばの花観賞
9月20日：曾我部小学校運動会見学
9月23日：GH 外食（和食さと）
9月27日：敬老会 日本舞踏 南条老人クラブご参加
10月9日：GH コスモス園見学
10月20日：小規模ピクニック（運動公園）
10月23日、11月18日：囲碁ボランティア
10月24日：小規模 コスモス園見学
11月1日：曾我部小学校 学習発表会に参加
11月7日：『清泉荘だより』第3号発行（南部エリア 3000 世帯に配布）
11月16日：曾我部町町民文化祭 出展参加
11月20日：亀岡市高齢福祉課 実地指導
11月23日、30日：内覧会、民生委員との懇談会
11月25日：GH 遠足（龍潭寺、宮本屋）
11月28日：曾我部小学校4年生と交流会（32名来所）
11月30日：内覧会・曾我部町民生委員の方々との意見交換
12月14日：内覧会・西別院民生委員の方々との意見交換
12月22日：クリスマス会
12月31日：おせち料理作成

【平成27年】

1月17日：新年祈願祭、午後「ミニシアターまる」による人形劇
1月20日：バンドサークル“菜摘” による演奏会
2月3日：節分
2月13日：防災訓練
2月16日：鍋パーティ
2月19日：おりがみ教室
2月21日：トランペットとピアノコンサート

3月2日：ひなまつりレクリエーション（小規模）
3月10日：囲碁ボランティア
3月12日：苦情解決委員会
3月18日：ひなまつりレクリエーション（GH）
3月30日：GH野間のけやき見学
4月6日：小規模お花見予定を変更、行楽弁当をホームで
4月10日：GHお花見予定を変更、ホームでバイキングパーティ
※随時お花見、余部、馬堀こいのぼり見学、平沢の池近くの道の駅、関西盲導犬協会
亀岡光秀祭りなど外出。
5月15日：小規模外出、野間のけやき
5月25日：介護実技研修 外部講師・吉崎先生
5月22日：『清泉荘だより』第4号発行（南部エリア3000世帯に配布）
5月29日：GHばら園見学
5月29日：GH外出 ばら園
6月27日：コーラスグループカナリーナさんコンサート
7月7日：高齢者涼やかスポット事業 開始（9月30日まで）
7月7日：GH 外食（松正）
7月10日：小規模 七夕パーティー
7月25日：しのまごころホーム 夏祭り参加
7月25日：しのまご祭り（3名参加）
8月10日：外部評価受審
8月22日：納涼祭
9月19日：曾我部小学校運動会 見学
9月22日：GH ひがん花の里見学
9月25日：敬老会 日本舞踏披露 南条老人クラブご参加
10月15日：亀岡市 地域密着サービス事業者集団指導
10月17日：地域ケア会議 出席
11月2日：感染症研修（南丹保健所より）以降ホーム内にて展開
10月6日：陶芸教室
10月9日：GHオリンピック
10月30日：おりがみ教室
10月中旬：数回に分けてコスモス園へ外出
11月9日：バス旅行（日帰り・天橋立）
11月15日：曾我部町町民文化祭 出展参加
11月16日：よさこい健美連おどり
11月27日：曾我部小学校4年生と交流会
12月19日：クリスマス会 カナリーナさん 南条老人クラブご参加

【平成28年】

1月元旦～：初詣 與能神社等
1月17日：新年祈願祭
2月3日 節分レクリエーション
2月27日：医療連携部会
3月3日：ひなまつりレクリエーション（GH）
3月5日：地域ケア推進会議
3月15日：『清泉荘だより』第5号発行（南部エリア3000世帯に配布）
4月9日、23日：GH家族会
5月12日：消防署立入検査
4月2日～：お花見
4月8日：5月16日 フレンドリーさん イベント（音楽・体操）
5月3日：光秀祭り参加
5月24日：曾我部町 寺村仲良しサークル見学
5月31日：GH外食（くら寿司）
7月15日～：高齢者涼やかスポット事業開始（9月30日まで）
6月8日：小規模多機能 外食（くら寿司）
6月13日：フレンドリーさん イベント
6月17日：大ちゃん一座 イベント
6月22日：桔梗の里外出（小規模）
6月27日：寺仲良しサークル イベント
7月7日：そば打ち大会、その後マジック演芸
7月12日：フレンドリーさん イベント
7月13日：グループホーム出前（宮本屋）
7月18日：囲碁ボランティア（亀岡市社会福祉協議会）
9月3日：清泉荘祭り バンドサークル“菜摘”の演奏、よさこい踊り等
南条老人クラブご参加

3. 亀岡清泉荘の取組みにご支援頂いた方々

- (1) 平成25年9月4日 竣工式典・開所式におけるご支援
 - ① 記念講演 京都大学名誉教授 上田正昭先生（曾我部町）
 - ② 生け花一式 加藤典子様
 - ③ 写真撮影 大持光男様 三宅信男様 亀岡植物誌研究会のメンバー
 - ④ 開式を告げる與能太鼓 與能神社二階堂宮司
- (2) 開所以降 冬の時期（12月～2月）を除き1週間に1度欠かさず生け花の交換
犬持光男様、イソ子様
- (3) 人形劇 ミニシアターまる 中島香織様
- (4) 歌と体操など 菜摘さん、カナリーナさん、フレンドリーさん、大ちゃん一座さん
- (5) お食事応援隊（6名）
家で穫れた野菜や果物等を、通常の献立の他に、折に触れ添えている。
- (6) そば打ち実演、試食会 坂本洋様
そば打ち実演、マジックショー 中島三羊子様（西別院町）、西村丈夫様
- (7) 折り紙指導 法貴良子様、折り紙教室 平田志津子様
- (8) 陶芸教室 田辺恵美子様
- (9) 囲碁ボランティア
亀岡囲碁クラブから 囲碁を趣味とする利用者への囲碁の相手 並河史郎様、豊田様
亀岡市社会福祉協議会から、勝田様
- (10) 夏祭り、敬老会、クリスマス会等
 - ・大正琴の演奏 亀岡葉月会のメンバー9名
 - ・日本舞踊 御幸会のメンバー藤原幾子様他3名
 - ・(童謡) 原田様 学校の音楽の先生
 - ・盆踊りの指導 法貴節子様（曾我部町） 平田志津子様（東別院町），
 - ・ゆかたの着付け 法貴良子様
 - ・よさこい健美連さま
 - ・南条老人クラブさま
- (11) 曾我部の美味しいお米を廉価で提供、南條ひがん花の里直売部さま
- (12) 診療、往診等の医療連携、小牧産婦人科医院、田中歯科医院、平岡医院、
瀬尾医院、ふくしま内科醫院、かめおかゆう薬局
- (13) 苦情解決委員会の第三者委員
弁護士 大槻純生様 地域代表 並河隆一様（曾我部町）
- (14) 運営推進委員会のメンバー
亀岡市高齢福祉課 高橋様、山内様、巻田様、東様、齋田様
包括支援センターあゆみ：松本善則様、工藤信枝様、秦 美也子様
南条区長 松岡隆男様、赤澤 仁様、陸嶋 健様
民生児童委員：後藤 隆様、八田比登美様
地域の方：大倉康子様、桂知恵美様
- (15) 図書の寄贈 上田正昭先生、大倉康子様

4. 亀岡清泉荘のご利用者さまについて

開設以来延べ61名の皆様に亀岡清泉荘をご利用頂いております。

現在までにご利用いただきました皆さまの概要は以下となります。(累計となります)

【お住いについて】

曾我部町南条	9名	吉川町	2名
曾我部町重利	5名	ひえ田野町	7名
曾我部町穴太	5名	大井町	6名
曾我部町寺	1名	千代川町	7名
曾我部町大飼	1名	余部町	4名
曾我部町計	21名	安町	1名
西別院町	2名	矢田町	1名
東別院町	1名	三宅町	2名
		柳町	1名
		東つつじヶ丘曙代	2名
		東つつじヶ丘都台	1名
		南つつじヶ丘桜台	2名
南部エリア	24名	南部エリア外	37名

【要介護度について】(亀岡清泉荘利用開始時の区分)

【性別について】

要支援1	3名
要支援2	6名
要介護1	33名
要介護2	7名
要介護3	10名
要介護4	3名
要介護5	0名

男性	女性
19名	42名

【年齢について】

60歳未満	1名
60歳～64歳	0名
65歳～69歳	0名
70歳～74歳	5名
75歳～79歳	5名
80歳～84歳	11名
85歳～90歳	20名
90歳～94歳	16名
95歳～99歳	3名
100歳以上	0名

5. 亀岡清泉荘 ご利用事例

(1) 小規模多機能ホーム

- ・柔軟なご利用方法でご夫婦でなじみの場所として

- ・単身独居の成年後見制度ご利用の方に身近な拠り所として

(2) グループホームの現状

認知症の方々が、穏やかに安心して暮らせる住まいとして

6. 亀岡清泉荘 運営推進会議で出されたご意見、提言等

【第1回】平成25年9月27日

要望・助言	対応
特養等のショートステイは常に満床の状況が多く、老夫婦の2人暮らしなど、1人が入院した場合の緊急の宿泊を受け入れてもらうシェルターのような対応をしてもらえるとありがたい	亀岡市としては介護保険外のサービスであれば構わないとのことなので、検討させていただく。 (その場合は、全額自己負担となると思われる。)
正式契約すること前提に、お試しで小規模利用ができないか	検討させていただき、体験利用1回から3回程度を受け入れるようにした。
利用者さまも参加しながら、地域の方が集えるようなサロンやカフェもよいと思う	グループホームに入所中の方は調理をよくしてください。そういったことも、視野に入れて検討していきたい。 地域の方に遊びに来ていただくのはよいことだが、利用者さまでない方の入浴は、感染症、病状が不明などのリスクが高く望ましくない。 地域の方と利用者さまの交流していただけるよう自治会などにもご協力いただく。
自治会の活動などにどの程度参加するか	職員、利用者さまで積極的に参加していく 地域の掃除や敬老会などにも参加させていただく
一般の人にとって、多目的室の活用は難しい。無料ではなく、この料金で使えるということで紹介し、低いハードルを作ることで利用してもらいやすくなる。	地域の方に多目的室を利用していただけるように、条件等検討し、案内できるようにする。

【第2回】平成25年11月27日

要望・助言	対応
開設間もないが、小規模の訪問の体制はどの程度整っているか	現在ご利用中の方も訪問中心の方で、今後も訪問を充実させていきたい。
清泉荘便りの経費について	印刷代、配達経費等、全部で約18万円の費用になっている。
医療連携について、地域の開業医の方との関係づくりについて	近隣の医院等に開所前に2,3回訪問し、往診の件お願いし、可能な範囲ご協力いただくこととしている。
自治会地区班への参加について	南条7班の評議委員は免除されるが、班長の役は引き受けてもらいたいと住民の方より要望あり班長の仕事として、回覧板の準備、訃報の知らせを各個に手渡し、緑・赤い羽根の募金回収区民スポーツ大会の打ち上げ幹事・・・などたくさん仕事があるが清泉荘がその役割を果たすことができるのか？確認される

地域になじむための取組みに何があるか	消防団と関係を作ることが大切 分団長さん等挨拶することの提案、災害がおこったときに地域の人がかけてくれる関係づくりが重要 例えば地域の方も参加してもらえ 救急講習会の開催など
ご家族より、TV などでは施設入所を待っている人が多いが、そのあたりはどうなのか？	GH ではスタッフの対応のこともあり徐々に入所をしていただいている。
地域の方より、区長の出席について	次年度の区長が日中仕事をしている人なら、この会議に参加するのが難しくなることもある。会議参加の義務があるわけではないので、理解を得にくい可能性がある点に留意が必要。

【第3回】平成26年1月28日

要望・助言	対応
苦情解決制度というネーミングは少し硬いのではないか。ささいな事でもというのであれば、相談から気楽に入っていた方がよいと思う。	ささいな事でも聞き取り、利用者さまのサービスの質の向上に活かしていきたいと考えている。ネーミングは検討させていただく。
看取りの話は、今後の課題である。家族は慌てるもの、より落ち着いた状況にある、私たちが、今後の方針をすりあわせておく必要がある。	今後、こういった状況になる方もいると思うので、主治医とも事前に関係づくりができればと思う。
清泉荘は高いと言われるが、家族の都合を聞いてもらえ、大変満足している。近所の方に清泉荘が良いことを伝えるのですが、他のデイサービスに行っていて、清泉荘でお風呂だけ入るという利用の仕方ができないのが残念です。	この施設に補助金が使われているため、介護保険外の利用がどの程度できるのか調べてみる（亀岡市担当職員さま）
清泉荘は値段が高いという話がでていと聞いているが、安ければよいというものではないだろう。グループホームは安いところも高いところもありこの地域に選択の幅があるということ。小規模は他の施設と金額に大差ないと思う。	値段の高い、安いは介護保険制度の理解不足もあると思うので、わかりやすいパンフレットなど考えなければと思っている（亀岡市 担当職員さま）
デイサービスの利用者さまが少ないので寂しいとおばあさんが言っている。	利用者さまは少しずつ増えていっている。今後も増えていくよう努力させていただく

ISO の研修を受けられているようですが、施設が取得されるのですか	施設での取得を目指している。
健康麻雀教室は職員の方が受講されているのですか	地域の一般の方が受講されており、受講者同士が仲良くなられ、盛り上がっている。
防災訓練は地域も巻き込んで、イベント性をもたせてはどうか。食材を持ち込んでもらい、豚汁の炊き出しなどもよいと思う。自治会でも昨年、防災訓練として、炊き出しを行った。ガスの炊飯器や大鍋が必要であれば、早めに言っていただけるとお貸しできます。	防災訓練は、春ごろにと考えている。炊き出し等は検討させていただく。

【第4回】平成26年3月25日

要望・助言	対応
小規模の家族がインフルエンザになった場合どうすればいいか？	小規模利用者さまの場合は、通所サービスを休んでいただくが、ご家族については決まっていない。その都度検討、対応させていただく。
インフルエンザの対応手順などはあるのか？	手順は作成していたが、今回、不十分な点にも気がついた。感染拡大を防ぐため、職員本人、職員の同居家族が発症した場合は、休んでもらい、体調不良の職員は早退し早めに受診してもらうなど早めの対応をするようにしている。
節分のレクレーションはどんなことをしたのか？これから花見や誕生日会などの予定はあるか？ 行事の時は京都学園大のボランティアなどを頼んでもいいかもしれない。	節分は、職員が鬼の装束を着て、豆の代わりに新聞を丸めたもので利用者さまに豆まきをしてもらった。花見は、運動公園でグループホーム・小規模多機能ホーム利用者さま、ご家族とお弁当を食べたりする予定。誕生日会は、グループホームは誕生日当日に、小規模多機能ホームは誕生月に誕生日会を行っている。
訪問看護とはどういうことか？	4月からグループホームは亀岡病院の訪問看護ステーションによる訪問看護と、24時間の対応体制をとることになる。それによりご家族に了承を得て、医療連携加算をいただくことになる予定。平岡医院、瀬尾医院の訪問診療は今まで通りで訪問看護が連携をとることになる。
特別養護老人ホームに3月入所する方はかねてから希望していたのか？要介護度は？	要介護3の方で、ご家族が1人で仕事をしながら介護されており大変な方で以前より入所希望されて

	いた。
<p>消防訓練は具体的にはどういった形ですか？</p> <p>玄関の自動ドアは手動で開けられるのか？</p> <p>階段を降りられない方は、火元の反対側に避難したりしていた。</p>	<p>消防署に指導を受けて、今回は施設内で行う予定。玄関ドアは手動で開けることが可能。</p>
<p>多目的室の活用はどうか？</p>	<p>地域の方にはあまり活用していただけていない。職員のサークル、お料理応援隊の調理前後のくつろぎの場になっている。カラオケの問い合わせがあったが来られていない。上田正昭先生にいただいた本など貸し出しも検討している。本も増やしていきたい。南条の老人クラブに認知症のDVDを貸し出したこともあった。多目的室は電話予約いただければ無料で使っていただけるので、活用していただきたい。</p>
<p>同じ献立がないくらい食事は工夫されている。</p> <p>自分で食べられる方が多いのか？</p> <p>食事は、施設で作っているのか？</p>	<p>食事の献立は、配達食材で決まっているが、小規模多機能ホームでは食事応援隊のみなさんが工夫して作って下さっている。昼食で多いときは14、5人分作っていただき、夕方は送迎などで職員が一時的に少なくなるので、食事応援隊の方に来ていただき大変助かっている。</p> <p>グループホームでは、利用者さまが調理を手伝って下さるため、利用者さまに手伝っていただきながら調理をするというのはやはり、介護の専門性が必要となり職員で対応している。食事はほとんどの方が自分で摂取されている。</p>

【第5回】平成26年5月27日

要望・助言	対応
<p>小規模は亀岡市内で清泉荘以外にどのようなところがあるか？まだあまりよくわからない人が多いのでは？</p> <p>(大倉様：小規模の仕事を実際に体験し、小規模がどのようなところか知りたい)</p>	<p>亀岡には他に、あゆみ、シミズ病院系列篠まごころホーム、陽風荘、すずらんがある。厚生労働省の推奨に伴い数は増えつつあるものの、一般の方には小規模がまだどのようなところか、どのようなサービスを行っているか、ということが浸透していない。まずはケアマネージャーの方に知っていただけるよう、広報活動等行っていく。(大倉様には後日小規模の仕事を体験していただく)</p>

利用者さまがアレルギーを発症した場合の対応は？	献立をご家族さまにお渡しすることを今後も徹底し、ご家族さまとスタッフ間でのコミュニケーションを通し、早期発見に努める。必要があれば直ちに医療機関への協力を求める。
夜など、コンビニ周辺の騒音はどの程度か？	今のところ、大型トラックが停車した際など多少音は聞こえるが、若者がたむろして騒いだりしている、などの騒音は認められない。
家族が高齢になった時に、施設側がどのようにフォローをしてくれるか？	おむつ、衣類などは職員が代わりに購入することもできる。身寄りのない方の財産管理については、成年後見人などの制度もある。
健康麻雀教室はどのようなものか？ 地域の人とのつながり、また、小規模、介護の現場を知っていただくよい機会になるのでは。 男性は参加できないのか？	清泉荘だよりで参加者を募り、現在女性4名を松野代表が講師として指導している。指先を使うことで頭を活性化し、仲間づくりの一助となることを目的としている。非常に好評を得ているので、もう少し回数を重ねたうえで、男性同士の教室も検討していく。
外食やコンビニへの外出を、今後も定期的に行ってほしい。	グループホーム、小規模ともに月一回を目安に今後も外食にお連れする予定。コンビニなどへの買い物も利用者さまのご希望を聞きながらお連れするようにする。利用者さまの安全を第一に考え（店にスロープがあるかなど、事前に周辺や店内の状況をスタッフが把握しておく）利用者さまの外とのつながりを大切に、今後も計画していく。
多目的室の活用はどうか？	今のところ地域の方には健康麻雀教室でしか使われていない。今後も清泉荘だよりなどに広告を掲載し、地域の方に気軽に使っていただけるように広報活動を行っていく。

【第6回】平成26年7月23日

質問・要望・助言	回答・対応
清泉荘の利用者さまで亡くなられた方があったとの報告があったが、利用者さまの亡くなられた状況は？	（小規模80才女性） ショート利用中、夜中に下血があり市内の主治医のいる病院へ緊急搬送。その後10日程で亡くなられた。脳梗塞の持病あり。 （小規模87才男性） サービス利用外の日にご家族の電話に出なかったため、近所の民生委員の方が様子を見に行き、倒れ

	ているのを発見した。透析の必要があったが、治療をしていなかった。
(家族会立ち上げの案に対し) 家族会は是非発足してほしい。但し、役の負担などが大きくならないようにしてほしい。	ご家族の介護疲れ、ストレスを軽減することを目的に、ご家族同士の話し合いの場を持ちたいと考えている。役の負担が大きくならないよう、会合は不定期開催で気楽に参加できるようにしていきたい。時には自宅介護の役に立つような勉強会も開催していきたい。今後利用者さまの意見もお聞きしながら具体的に計画していく。
社会福祉協議会、また、民生委員とは積極的に関係を築いていくべき。もっと夏祭りなどのイベントを手伝ってもらうなど、協力を仰いでみてはどうか。	夏祭りなどのイベントを手伝ってもらう ・運営推進会議に参加してもらう ・自治会長などに間に入ってもらい、取り持ついただく ・清泉荘の多目的室等を利用してもらう などいろいろなアドバイスをいただけたので、参考にし、今後双方と連絡を取っていく。
(AEDの設置案に対して) 心臓マッサージ、人口呼吸に加えて使用することで救命率が上がるので、設置するのであればスタッフへの講習もしっかり行ってほしい。	皆様の意見を参考に AED の設置を今後も検討していく。設置する場合は、AED を活かせるようスタッフへの定期的な訓練も実施していく。また設置を周辺の方にも知ってもらうよう、広報活動も行う。今後どのような対策をしていくか、ご報告させていただきます。(その後小規模事務所に設置した)
清泉荘で初めて介護の仕事を経験される方が多いので、開設から一年経つのを機に基本に立ち返り、基本技術を徹底的にスタッフに教えてほしい。	スタッフは未来ケアカレッジやニチイの講習を受けているものが多く、学校で基本を学んできているが、職場でも実際の経験を通じ基本技術を徹底して教えていく。今後も能率重視ではなく、職員の技術向上を優先させ、利用者さま本位の施設づくりを心掛ける。

【第7回】平成26年9月24日

質問・要望・助言	回答・対応
夏祭りの感想	とても楽しく参加できた。従来の夏祭りではなく全体で一緒に行くことにより一体感を持つことができた。浴衣もとてもきれいに着ておられ、利用者の方が盆踊りも楽しそうに参加されていたのでとてもほほえましかった。知り合いの方が踊りのボランティアで来られていたので話ができてよかった。

コーラスのボランティアについて 曾我部小学校 PTA から立ちあがったコーラスグループ カナリーナの方々に声をかけたらとのご提案	早速クリスマス実行委員のメンバーに、カナリーナのことを伝え検討する
ハーモニカが上手な重利在住の男性について ギャラリーでもコンサートされたりしているのでまた清泉荘に来てもらいたいときは声をかけてくださるとのこと	小規模利用者の近隣の方で顔はよく存じている方なので、清泉荘でも発表していただく機会をもってもらえるように検討する (以後2回発表の機会をつくることができた)
囲碁をされる方は教えておられるのか？	教えておられるのではなく、囲碁の相手を探しておられたところ、宮内役員の知り合いの方でちょうど互角の方がボランティアで来て下さり、囲碁の時間を楽しんでくださっているとお伝えする
社協の新しい会長さんについて	現在の会長は山脇昌行さんで、後日ご挨拶に何う予定
11月16日 文化祭出展について	赤澤区長さんより清泉荘のコーナーを設置するように頼んでくださるとのこと。出展を目標にして作品づくりを楽しんでいただく

【第8回】平成26年11月27日

質問・要望・助言	回答・対応
京都学園大学のボランティア部は、どのようなことをしてくれるのか？	まずこちらから具体的な要望を伝え、先方の日程の調整がつけば実施していただける方向。 夏祭りなどでコーナーをひとつ担当してもらうなどのスポット的な支援、また、先々の日程を決めて定期的、継続的な支援をお願いできるよう、学園大OBのスタッフなどを介して積極的に要望を伝えていきたい。
どのようにしたら地域の皆様との関係を深められるか？(清泉荘の多目的室などをもっと利用していただくためにはどうしたらいいか)	外部調査の時も地域の方々とのつながりを深めることを清泉荘の今後の目標としてあげている。まずはきっかけとして、多目的室が無料でご利用いただけることを広く知っていただくための広報活動を今後も継続的に行っていく。多目的室をクラス会、同窓会などの打ち合わせの場としても(そのような需要は多いと思うので)お使いいただけるようにしていく。

<p>ハーモニカサークル（菜摘）演奏会の件はどうなったか？</p>	<p>クリスマス会にお願いできたらと考えていたが、クリスマス会は清泉荘主治医平岡医院の院長夫人が歌を歌ってくださることになったので、来年1月の新年会で演奏していただけるよう、日程調整を桂様をお願いした。</p>
<p>年末年始の清泉荘の様子について (GHの入居者さまは自宅に帰られるのか)</p>	<p>GHの入居者さまに関しては自宅に帰られる予定の方は今のところいない。(ご家族と外食を楽しまれる程度)自宅に帰ると普段の生活とのギャップも大きく、精神的に落ち込んだり、不安定になられる方が多い。</p> <p>小規模はデイの利用者は通常よりは減るが、独居の方を中心に利用はある。</p> <p>来年も宮内取締役による新年祈願を多目的室にて執り行う予定。</p> <p>利用者さまの中には正月などの行事の認識が薄くなっておられる方もいる。スタッフは決して強要はせず、個人に合わせて対応していく。</p>

【第9回】平成27年1月29日

質問・要望・助言	回答・対応
<p>小規模の利用状況（利用頻度）は、どのようになっているか</p>	<p>週2回お風呂と食事だけ、など利用者さまの個々のご要望にお応えしている。(したがって全員利用頻度が高いとは限らない)</p> <p>男性の利用者さまが増えてきている傾向がある。一般的に男性はサービス利用につながらないケースも多いので、男性が来やすいというのは今後清泉荘のひとつの売りになっていくのではと期待している。</p>
<p>多目的室の利用状況について</p>	<p>現在外部の方の利用はまだ少ない状況が続いている。高齢福祉課係長より「お花、お習字などの教室やサークルを行い、利用者さまも一緒に活動できないか」という要望もいただいているので、今後も積極的に考えていきたい。</p> <p>PC教室の需要はありそうなので、具体的に検討していく。</p>
<p>職員がおむつフィッターの研修を受けられたというが、家庭でも実践できるいい方法な</p>	<p>今のところ利用者さまのご家族が参加できるような研修はされていない。ギャザーをしっかりと立て</p>

どはあるか	る、中の綿がよらないようにするなど、注意点があれば清泉荘からも発信していきたい。おむつを当てる位置など、細かい点についてもご家族の要望をよくお聞きしてスタッフに周知させ個別に対応していきたい。
男性のみの麻雀教室の開催予定は 清泉荘で今後特養を作る予定はないか（近くに特養があると安心できるが）	メンバーが3人集まれば開催が可能である。 財政がひっ迫している国の政策としては、高齢者が家で暮らすことを推進する方向にある。総量規制もあるので厳しいが、30床くらいの地域密着型なら可能性があればまた検討する。

【第10回】平成27年3月27日

質問・要望・助言	回答・対応
小規模の登録者が急増したが、現場の体制は対応できているか	小規模は3月に利用者数が4名増え、登録定員の25名に達した。訪問中心の方も多く、デイも短時間利用の方が比較的多くいらっしゃるの（お食事やお風呂のみで帰られる方など）現場のほうも現状については対応できている。今後登録定員数がさらに増えた場合は、随時職員も増やして対応していく。
要支援1、2の方のサービス移行について	介護保険制度の改正に伴い、要支援の方が現状の訪問介護や通所介護を受けられない可能性が考えられる。清泉荘としては引き続きPC教室、男性の健康麻雀教室の検討を進め、その受け皿になっていけるよう準備をすすめていきたい。
運営推進会議のメンバーを替えたほうが、新たな意見が出るのではないか	今回も民生委員の方にお声がけしたが、都合がつかずご参加いただけなかった。今後も民生委員の方には引き続きお声がけし、始めはスポットでご参加いただき、関心が高く継続的な参加が可能な方がいればコアメンバーとしての参加もお願いしていきたい。また、利用者さまのご家族様についても、毎回ご参加いただくのは負担も大きいので、1年ごとに交代していただくなどの方法を考えていきたい。
4月からの介護報酬改定については必ず利用者さまにご説明するように	利用者さまのご家族様には必ず文書で通知し、重要事項説明書も随時変更していく。
今年のお花見はどのように実施するのか	昨年は小規模、グループホーム合同で、家族様もお

	誘いして清泉荘にてバーベキュー大会を行った。しかし人数が多いとリスクも高くなることから、今年は小規模、グループホーム別々にガレリアにてお花見を考えている。トイレや車いすなどの問題もあるので、曾我部小学校、大井川河川敷、平沢の池等へのドライブなども検討し、できるだけ全ての利用者さまに桜を楽しんでいただけるよう、職員全員でアイデアを出し合いながら実施していく。
--	---

【第11回】平成27年5月28日

質問・要望・助言	回答・対応
小規模ホームはトライアル利用などはされているのか	お試しは1週間無料で食事代のみいただいている。お試しをされる方もいれば、お試しなしでご利用開始になる方もおられる。男性利用者さまが多いので、見学に来られた男性の方もご利用しやすいと思われる。
グループホームの待機状況はどうか	小規模ホーム利用中の方が3名待機されている。ご家族さまは大変な状況であるが、少しでも小規模ホームご利用で外出されたりすると気持ちが楽になるようで入所を急がれている様子ではない。
曾我部町で清泉荘が参加できそうな行事は、文化祭、運動会の見学などがある。 曾我部町で10/18に神輿巡行がある。 獅子舞が12:30頃、神輿が15:30ごろ清泉荘前を通る。近づいてきたら、スケジュールが回覧板でまわる予定。雨天は中止になる。	駐車場から利用者さまと見学させていただく。
この地域は介護サービス事業所の少なかったところなので、地域に施設を開放していく、例えば介護者のつどいとか、他の地域で行った取り組みなども行えたら。	地域へのかかわりについて考えている。包括支援センターの方から要請があればぜひ協力させていただきたい。

【第12回】平成27年7月29日

質問・要望・助言	回答・対応
多目的室はサークル等で利用することはできるのか	会議等の予定が入っている時間帯以外は、いつでも地域の方に使っていただける。(事前に多目的室利用申込書の記入が必要。詳細、問い合わせは本部事務湯浅まで) また、昨年に引き続き、涼やかスポッ

	トとしても地域の方に開放している。
室温は何度くらいに設定、維持しているか	室温は26℃くらいに保っている。気温の感じ方には個人差があるので、寒いと感じられる利用者さまについては個別に軽い上着をご用意していただいている。常に動いていて暑さを感じやすい職員ではなく、動きが少ない利用者さまに合わせて空調を調節するよう配慮している。また、空調の風が利用者さまに直接当たらないように、テーブルなどの配置にも気をつけている。
熱中症対策はどうしているか 水分が取りにくい利用者さまへの水分補給はどのように行っているか	水分補給については、個人の好きな飲み物を飲んでいただくようにしている。(カルピス、牛乳、ゼリーなど) 暑さをもともと感じにくい方、また、トイレを気にされてあえて水分を控えられている方などにはスタッフが特に注意し、個別に対応していく。水分補給のみの訪問も行っている。熱中症対策としては水分補給の他に、塩分補給、場合によっては体を冷ます(首元の冷却等)などの措置も行っていく。
夏祭りの実施について	今年は来年と時間帯を変えて8月22日12時～納涼祭として開催を予定している。昨年同様夜店風のお料理や盆踊りなども取り入れ、利用者さまとご家族さまにお祭りの気分を味わっていただくとともに、ご家族さま同士の交流の場としても活用していただけるように、職員一丸となって企画をすすめていく。

【第13回】平成27年9月29日

質問・要望・助言	回答・対応
インフルエンザ対策について(予防接種の時期など)	予防接種は基本的に主治医が担当している。(平岡先生) 接種回数は1回。その年によって流行する時期が異なるので、流行時期を予測しつつタイミングを見計らって利用者さまに接種していただく。昨年職員については、家族の感染が発覚した時点で一定期間休みを取らせるよう徹底していた。昨年は1名も利用者さまに感染者が出なかったことから、今年も昨年のルールを継承しつつ、さらに万全な対策をしていく。

<p>結核、ノロウィルスの感染者が近郊で出ている件について（地域包括支援センター長より情報提供）</p>	<p>管理者がすでに感染症研修に出席し、今後研修内容を職員に伝達していく予定。職員ひとりひとりが正しい知識を持ち、感染を広めないよう対処をしていく。ノロウィルス専用の消毒キットなどを予め用意しておくことも有効とのことなので、検討していく。</p>
<p>国の総合事業への移行に伴い、清泉荘としては小規模多機能以外にどのような要支援者へのサポートが考えられるか</p>	<p>食材配達の業者からの打診もあり、見守りも含め検討したがロイヤリティが高額なこともあり実現が難しかった。参加者の皆さまからは地域の高齢者の傾向として次のようなものが挙げられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ能力が低い人、プライドが高い人が引きこもりになりやすい（女性に比べ男性が多い） ・農業をされていた方と会社員をされていた方、団地住まいの方と昔からその土地に住まわれている方、など経験、環境の違いにより溝ができやすい ・周囲の仲のよい人がデイサービスなどに行ってしまうと、寂しく感じる人も多い ・小学生の見守りなど時間が決まった習慣が体調にいい影響を及ぼしている ・人との会話、人と接する緊張感が認知症の予防につながっている <p>以上のことから、認知症カフェなど地域の方々のコミュニティの場をつくる、また意欲を持っていただき、習慣にしていだけるような教室を開催するなど引き続き検討していく。</p>

【第14回】平成27年11月20日

質問・要望・助言	回答・対応
<p>インフルエンザについて、どのような対策をとっていくか</p>	<p>前回お伝えしたとおり利用者さま、スタッフへの予防接種と、感染が発覚したスタッフについてはマニュアルを作り一定期間休みを取らせるよう徹底する。それに加え来所される方への手洗い、うがい、アルコール消毒のお願い（文書の配布等）をすることと、人ごみの中（スーパーへの買い物など）への利用者さまの外出を控えるなど、考えられる万全の対策を取っていく。</p>
<p>ノロウィルスの感染について、どのような対</p>	<p>管理者打越が感染症研修に出席し、今後研修内容を</p>

<p>策をとっていくか</p> <p>・嘔吐物の処理などは訓練が必要である。感染対策とともに嘔吐している本人の救護も同時にしなくてはならない。</p> <p>(地域包括支援センター長より助言)</p>	<p>職員に伝達していく予定と前回お伝えしていたが、実際に施設内でも南丹保健所職員による感染症研修を実施し、全介護職員が研修を受け演習も行った。嘔吐物処理のための手袋等のキットも準備している。今後は研修で学んだことをベースに清泉荘独自の感染症対策をマニュアル化できるよう、準備をすすめていく。</p>
<p>1 1月9日のバス旅行はスタッフの目が行き届いていて、同行者である家族も楽しめた。イベントは本人(利用者さま)も楽しみにしているの、また開催してほしい。</p> <p>(利用者さまご家族さまより)</p>	<p>今回は初めてのバス旅行ということで、多少の小さなトラブルはあったものご参加いただいた皆様に喜んでいただくことができ成功させることができた。今後も今回の教訓をいかし、利用者さまの身体状況に応じて新たな企画を考えていきたい。</p>

【第15回】平成28年1月26日

質問・要望・助言	回答・対応
<p>2/27に地域ケア会議が行われる。テーマは認知症で徘徊対策等について話し合われる予定。徘徊者にマイクロチップを所持させるようにし、スマートフォンのアプリで検索する方法などが検討されている。徘徊模擬訓練等を行う際には、清泉荘にも協力してほしい。</p> <p>(地域包括支援センター長より)</p>	<p>徘徊事例はいろいろあり、遠方まで歩いて移動してしまう場合もあり得る。山などに入ってしまう、命を落とされる事件も発生している。認知症を発症している場合でも、身なりや言葉遣い、受け答え等しっかりしている場合も多く、徘徊者とは一見わからないことも多いのでマイクロチップを常に所持させスマートフォンで検索する方法が広まれば非常に有効であると思われる。模擬訓練等が行われる際には、清泉荘としても全面的に協力させていただきたい。</p>
<p>他事業所や新規立ち上げの事業所で人材不足になっているところがあるが、清泉荘ではそのような兆候はないか。</p> <p>(齋田さまより)</p>	<p>今のところオープニングスタッフがほとんど残っていて、非常に職員の定着率はよいといえる。引き続き健全かつ職員が充実感を感じられる職場風土を守り、人材を確保していきたい。</p>
<p>他事業所の実地指導で運営規定、重要事項説明書等に不備が見受けられる場合があるので、今一度見直しておいてほしい。</p> <p>(齋田さまより)</p>	<p>介護報酬改定、負担割合の変更等がある際には適宜訂正を加えているが、内容に相違がないように今一度確認を行っていく。</p>

【第16回】平成28年3月9日

質問・要望・助言	回答・対応
<p>(清泉荘がなかなか地域の方々との相談窓口</p>	<p>利用希望の方からのご相談はあるが、それ以外の近</p>

<p>になれていない、ということに対して) もっと積極的にアピールしたほうが良いと思う。例えば曜日を決めて“何でも相談窓口”等を設けるなど。</p>	<p>隣の方からの相談はほとんどなく、どのようにすれば近隣の方が気軽に相談をしてくださるか、どのようにしたら敷居を低くし地域の方と繋がっていきけるかが課題だったので、今後助言いただいたこと等を実現していけるように検討する。たまに運営推進会議の場所を替え、もっと多くの地域の方に参加していただくことも今後検討していく。</p>
<p>(地域の方とのつながり、地域への貢献ということに対して) 小学校が毎週水曜日一斉下校をしているので、その時間に旗振りや見守りをしてみたらどうか。断続的にではなく、地道に継続していくことが大切である。</p>	<p>曾我部小学校の水曜日一斉下校に関しては、時間を調べたうえで、利用者さまと一緒に見守りを行っていききたい。小学生の皆さんと顔なじみの関係を気づき、万が一のときには頼ってもらえる存在になれるようにしていきたい。</p>
<p>スタッフの方の顔が覚えられないので、お揃いのジャンパーなどを着られたらどうか。</p>	<p>制服は清泉荘のイメージを統一しスタッフを外部の方に周知してもらおう役割も担うが、一長一短などところがあり場合によっては利用者さまに威圧感を与えてしまうこともある。検討は続けるが、しばらくは個々の私服を着用する。</p>
<p>AED の設置場所についてももっと外部の人に周知が必要である。高齢者の方は使いにくいので、使い方も教えてもらえると助かる。</p>	<p>以前清泉荘だよりに設置場所を掲載したが、もっと知っていただくために今後も継続的に地域の方にお知らせしていく。地域の方を交えた訓練等も今後検討していきたい。</p>

【第 17 回】平成 28 年 5 月 23 日

質問・要望・助言	回答・対応
<p>9月4日に予定している清泉荘祭りの際に、地域の方にもお声掛けすることについて。地域の範囲はどこまでか。 (地域密着型の“地域”とは曾我部町全域を指しているとも取れるが。)</p>	<p>当初は5班だけにお声掛けするなど規模を小さく考えていたが、いただいた助言をもとに南条区まで範囲を広げる等、できるだけ多くの方にお声掛けできるように検討する。 しかし、利用者さまのご家族さま以外の地域の方にお声掛けするのは今回が初めての試みであることと、当方の受入可能人数も有限なことから(当日の天候にも左右される)、曾我部町全域というのは難しいと考えている。今後もお声掛けさせていただく地域をよく検討し次回7月の会議にて再度ご報告、ご相談させていただく。</p>

<p>(先の対象地域の問題に関連して)</p> <p>運営推進会議には曾我部町自治会長、または各区長が出席すべきではないか。</p>	<p>防災など広域な視点で考えなくてはならない事案を検討すべき場合などは、曾我部町自治会館等を借りて今後各区長さんにも来ていただける会議が開催できないか検討していく。検討事案によって、対象地域の範囲を広げたり、狭めたりする必要はあると思うので、その都度柔軟に対応していきたい。</p>
<p>曾我部町にも危険箇所は多数存在する。特に、地震と大雨には厳重な注意が必要である。</p>	<p>町単位から区単位までそれぞれ防災訓練を行っていらっしゃるの、参加させていただいたり、情報をいただいたりして施設の防災に役立てていきたい。</p>
<p>利用者の方々はどのようなイベントをよろこばれているのか。</p>	<p>外出がよろこばれる傾向にある。元気な頃と同じ体験、例えばドライブや喫茶店などにお連れするとよろこばれる。外出場所の状況はもちろん、かかる時間や、お手洗いが近くにあるかなど、利用者さまの体調やお身体の状態によってスタッフが考え実施している。</p>
<p>(亀岡市高齢福祉課さまより)</p> <p>認知症高齢者事前登録制度が発足するので、事前登録をしてください。</p>	<p>必要な利用者さまの家族さまに制度の必要性を周知する。必要な方の事前登録がされるよう、フォローしていく。</p>
<p>今後のボランティア活動について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リンクスさまが紙芝居をしてくださる ・大倉さまが GH 安井さまの囲碁のお相手になり得る方にお声掛けしてくださる ・陸嶋さまがハーモニカサークルを紹介してくださる 	<p>清泉荘はスタッフの紹介や、そのほかにも様々なボランティアをしてくださる方々のご協力が得られている。管理者、リーダー（二人）のほうで随時スケジュールを調整して、実施していただく。</p>

【第18回】平成28年7月26日

質問・要望・助言	回答・対応
<p>(涼やかスポットのチラシ配布について)</p> <p>回覧でまわすよりも、南条老人クラブなどに直接持っていくほうが、効果があるのではないか。京都府の委託事業ということを強調した方が、遠慮なく来ていただけるのではないかと。</p>	<p>南条老人クラブには数日中に直接チラシをお持ちするようにする。文面も助言をいただいたとおり、再検討する。</p>
<p>近隣地域でも介護職が慢性的に不足しているが、清泉荘の従業員の状況はどうか。</p>	<p>結婚等、家庭のやむを得ない事情による退職者が数名あり、補うために現在求人広告を掲載している。</p>

	<p>皆さまが言われるとおりに利用者さまの死に直面することや、対人的な仕事内容は、特に若い人のなかにはストレスを感じる人もいるかもしれないが、Aさまのケースなど“長く尊い人生の最期に係わらせていただけている”という喜びを仕事のやりがいとして感じられるような職場環境にしていきたい。</p>
--	--

7. 意見交換

8. おわりに